

「20年かけ 一つの完成形となった」浜松市合併記念式典

浜松市は1日、2005年の12市町村合併から20周年を迎え、浜名区新都田のサーラ音楽ホールで記念式典を開いた。中野祐介市長は式辞で、「浜松市は

20年の歳月をかけて、一つの完成形となった。さらに20年先に向けて、持続可能なまちづくりを目指していく」と節目を祝った。(荒木正親)＝関連⑩面



⑩式辞を述べる浜松市の中野祐介市長 ⑪披露された20周年記念ロゴマーク いずれも1日午後、浜松市浜名区のサーラ音楽ホールで



05年7月1日、浜松、浜北、天竜の3市、春野、佐久間、水窪、細江、引佐、三ヶ日、雄踏、舞阪の8町、龍山村が合併。人口は県内最多の80万人超、面積は全国2位の新しい浜松市が誕生した。07年に政令指定都市移行、昨年は行政区を7区から3区に再編した。

中野市長は「12市町村という全国でもまれな規模の合併だった」と強調。自然災害や新型コロナウイルス禍などを通じた社会の変容を振り返り、「その中で行政サービスを維持し、市民生活を守ったのは合併の大きな成果だった」と語った。

20周年記念ロゴマークもお披露目された。三つの候補から先月までのオンライン投票で決まった。楽器やウナギ、お茶があしらわれ、特色の異なる3行政区が手を取り合う様子を表現した。考案した静岡文化芸術大2年の畑あかりさん(19)は「選ばれてとてもうれしい」とコメントを寄せた。

高校生による記念コンサートもあり、浜松市立高合唱部が市歌など4曲を、天竜高郷土芸能部が和太鼓を、浜名高吹奏楽部が3曲を披露した。